

加太小学校だより

<http://www.kameyama-mie.jp/kblog/kabuto/>

令和6年
11月15日
No.16



みんなで頑張った音楽会

夕暮れも日ごとに早くなり、秋も深まってきました。11月7日には、亀山市小中音楽会が亀山市文化会館で開催され、全校児童で「ふるさと」を合唱しました。この日に向けて、子どもたちは、歌う時の姿勢や声の出し方、曲想を感じた歌い方などをみんなで練習してきました。全校で練習する中で上級生の歌声を聞き、それをお手本として自然にうまくなっていきました。そして、本番。子どもたちは、練習してきた成果を発揮し、とてもきれいな歌声を客席に届けてくれました。一人一人が自分の力を出し、みんなで曲を仕上げていく過程をやりとげた子どもたちです。この達成感を今後活かして行ってほしいと思います。



みんなでつながろう「あいとも運動」

自分から進んで挨拶をする習慣を身に付け、周りの人とのコミュニケーションの向上を図ろうと、児童会が「あいとも運動」を行いました。期間中、挨拶の目標人数を達成できたらあいとも木にシールを貼ることができます。遠くからでも大きな声で元気のよい挨拶をする子や自分から進んで先生や友だちに挨拶する子も増えてきました。

これからも挨拶が習慣化するように子どもたちに自分自身を振り返らせながら取組を進めます。



～児童のふり返りより～

- ・朝から元気いっぱい気持ちになったので、これからも自分からあいさつを続けたい。
- ・言葉のキャッチボールをしたり、大きな声であいさつをしたりしたい。
- ・あいさつをすると、うれしい気持ちになるし、すっきりした気分になった。
- ・相手から言われる前に自分からあいさつできるように心がける。
- ・校内での言葉のキャッチボールが多くなっていて、自分も明るい気持ちになったので、これからもたくさんの人にあいさつをしたい。



メディアを正しく使おう



近年、情報化社会が急速に進み、私たちの生活にスマートフォンやタブレットなどのメディアが大きな影響を及ぼし、便利な反面、問題点も浮かび上がってきています。それは、大人だけでなく、子どもにも影響が出てきており、「依存や使いすぎ」による生活習慣の乱れやたくさんの情報に流されてしまうことなどが指摘されています。

そこで、学校では、メディアの使い方について子ども自身がふり返り、よりよい使い方ができるようにしていこうと、学校医の井上先生や本校の養護教諭、教育ネットの池本先生からメディアと健康についての話を聞き、考える機会を設けました。話の内容は、先日お配りした保健だよりをご覧ください。

今回、メディアの使い方について学んだことを15日（金）から始まるメディアコントロール週間はもちろんのこと、日々の生活の中においても活かして行ってほしいと思います。

～児童のふり返りより～

- ・インターネットは使い方を間違えると、危険なことになったり依存してしまったりすることがわかりました。私もゲームなどをしたいときは、家の人と決めて使い方を間違えないようにしたいです。
- ・ネットも上手に使いえばいいことになって、悪く使うとダメなことになるとわかりました。
- ・自分も使いすぎてしまうことがあるので気をつけたいです。
- ・依存にならないように時間を守ってしようと思った。
- ・依存になるとやめたくてもやめられなくなってしまうことがわかりました。
- ・うその情報かあやしいときは、決めつけないということがわかりました。スマホなどのメディアは使い方次第で依存症になったり、役にたったりするということがわかりました。
- ・うその情報にだまされないように気をつけたいです。お金や時間を使いすぎずに家族の時間を増やしていきたいです。使いすぎないように気をつけたいです。
- ・道具は使い方次第で良い方向に行ったり悪い方向にいったりするのだとわかりました。インターネットがやめられなくなったときになおそうとしても遅いので、ゲームをやる前にはルールを決めてしようと思います。



家庭学習の習慣を身につけよう



学校では、家庭学習として以下のような宿題と自主学習に取り組んでいます。

- | |
|---|
| <p>【宿題】・・・・・・・・音読練習やドリルを使った漢字練習、計算練習
タブレットを使った学習（「e-ライブラリ」を活用した既習事項の復習など）</p> <p>【自主学習】・・・・・・・・自分で学習する内容を決める学習
「ばっちりメニュー」⇒漢字や計算を中心に自分がもう少し練習したり復習したりして確実に理解し、できるようにしていく学習
「わくわくメニュー」⇒自分の興味や関心があることについて調べ学習をしたり、自分の感想や考えをまとめたりするなど、探求し、思考力を高める学習</p> |
|---|

家庭学習を習慣化することで、子どもたちは、自分で目標や計画を決め、集中して取り組む力や継続する力を高めていきます。また、学校で学習した内容の理解を深めたり、いろいろな学習への興味や関心をもったりします。そして、学習することの充実感を得ることができそうです。

今後も学校と家庭が連携して、子どもの学習意欲を高め、家庭学習の習慣化を図っていききたいと思います。そのためにもお家の方の温かい励ましの言葉や学習しやすい環境づくりなどが、子どもにとって大きな支えとなりますので、ご理解とご協力の程、よろしく申し上げます。

本日、三重県教育委員会から出されました「みえの子どもたちの家庭学習の習慣化を～やる気を引き出し、自ら学ぶ習慣を身につけるために～」を配布しました。ご一読いただきますようお願いいたします。